

平成24年度 第2回血液検査研究班研修会 平成24年9月1日 参加人数 72名

講演1「取ろうぜ！2級 - 基礎固めでスキルUP -」

千葉大学医学部附属病院 検査部 仙波 利寿 技師

講演2「認定血液検査技師制度 認定試験-受験の準備を始めてみませんか? -」

千葉県済生会習志野病院 検査科 深海 律子 技師

講演3「セラビジョンDM96を利用した新たな応用」

セラビジョン ジャパン 株式会社 アプリケーションスペシャリスト 春日加奈子 様

講演4「今さら聞けない血液検査(塗抹標本の一工夫)」

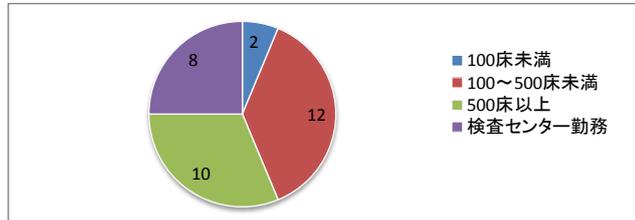
千葉市立青葉病院 臨床検査科 柿沼 豊 技師



アンケート結果

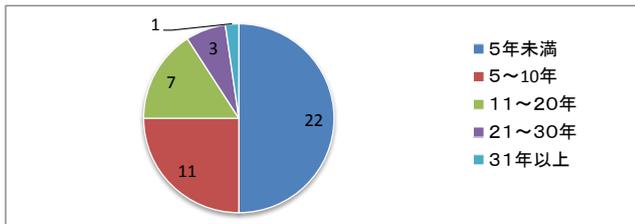
1. あなたの勤務先の病床規模はいつですか。

100床未満	2
100～500床未満	12
500床以上	10
検査センター勤務	8
その他	1



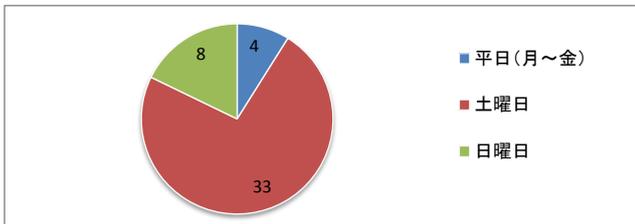
2. あなたの血液検査経験は何年ですか？

5年未満	22
5～10年	11
11～20年	7
21～30年	3
31年以上	1



3. 研修日について、希望の曜日または時間はありますか。

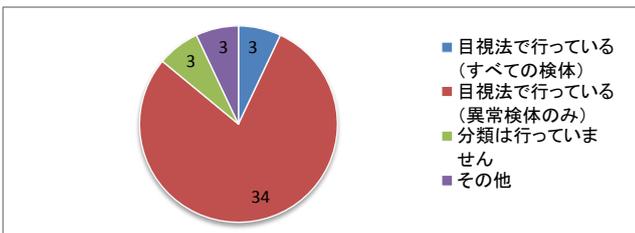
平日(月～金)	4
土曜日	33
日曜日	8



4. あなたの施設的好中球分類(分葉核、桿状核分類)についてお尋ねします。

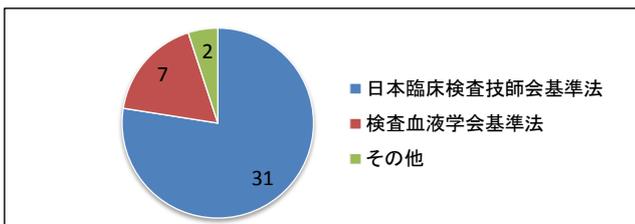
1). 好中球分類(分葉核、桿状核分類)は行っていますか？

目視法で行っている(すべての検体)	3
目視法で行っている(異常検体のみ)	34
分類は行っていません	3
その他	3



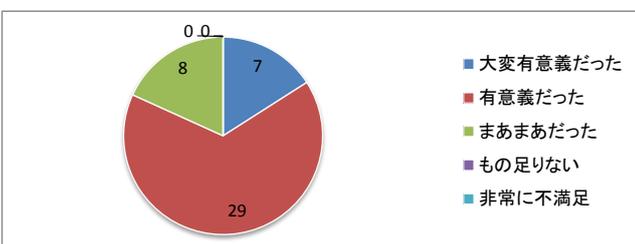
2). その分類はどのような基準で行っていますか？

日本臨床検査技師会基準法	31
検査血液学会基準法	7
その他	2



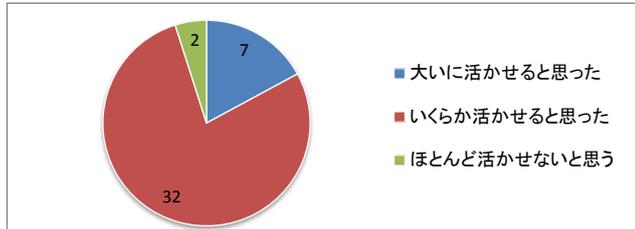
5. 今回の血液研修会についてどのような印象をお持ちですか。

大変有意義だった	7
有意義だった	29
まあまあだった	8
もの足りない	0
非常に不満	0



- ・自分も何か認定資格をとってみたいという気持ちが湧いた。
- ・2級試験や日常業務の情報があって分かりやすかったです。
- ・認定試験を受験してみようという気持ちになった。
- ・山本先生の話が聞けなかったのが残念でした。
- ・引き終わりを止めるという発想がすごかった。
- ・2級試験の内容や対策を聞くことができたので良かった。
- ・認定試験を受けるのに50単位必要であることが分かった。
- ・スキルアップにつながりそうだ
- ・長年、臨床検査技師をやっていますが、最近血液検査をするようになりました。スキルUPのため是非受験してみようと思いました。
- ・認定試験の内容が分かって良かった。
- ・2級試験、認定試験は用具やポイントなどで、かなりハードルが高いと思った。本人のモチベーションを高く持つことは非常に良いことだと思います。更に例えば各施設が基本給をUPするなどの配慮も必要となるのでは？
- ・試験を受ける予定がないので前半は無意味。メインの講演が中止となってしまった。

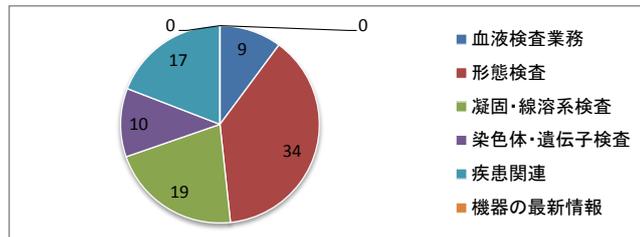
6. 研修内容は今後の職務に活かせると感じましたか。
- | | |
|--------------|----|
| 大いに活かせると思った | 7 |
| いづらか活かせると思った | 32 |
| ほとんど活かさないと思う | 2 |



- ・標本作成について引き止めのメリットを学ぶことができた。
- ・2級試験についてですが、当施設では(恒温槽)および手法での測定用具がありません。わざわざ購入するか悩んでいます。

7. 今後の血液研修会の内容について、一番関心の高いものは何ですか。(複数回答可)

血液検査業務	9
形態検査	34
凝固・線溶系検査	19
染色体・遺伝子検査	10
疾患関連	17
機器の最新情報	0
その他	0

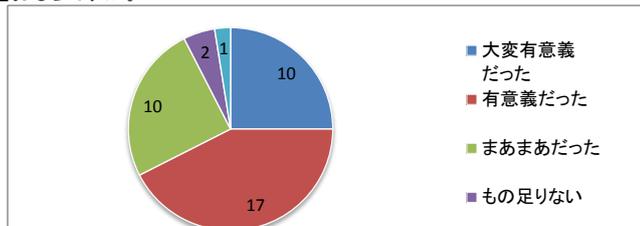


8. 今後、希望する研修会テーマはございますか。

- ・生化学のデータ等とリンクした血液検査 (EBV感染ならLDHなどが上がる等)
- ・血液検査とは検体検査の中の1つであり、私の業務でも常に担当できるポジションではないので、こういった初級～中級向けの研修会があると助かります。
- ・WHO分類について
- ・細胞表面マーカーなどの見方
- ・末梢血形態について実技(検鏡)実習があるといいです。
- ・血液細胞の詳しい話
- ・形態検査や疾患について
- ・凝固系
- ・骨髓像の見方
- ・今回聞けなかった「血液像の基礎的知識」「マルク」
- ・疾患テーマ別の話
- ・血液像について
- ・血液像をみる上で知っておきたい基礎知識。聴講たのしみにしております。
- ・血液標本で引き止めをすることは今まで考えてみたこともなかったので、やってみたいと思った。
- ・次回は是非、スライドによる血液像、マルクの形態の勉強をお願いします。
- ・基本的な内容(今回のような)、異型細胞の見方
- ・白血球像の分類を正常から異常像までスライドで説明して頂きたい

9. 今回の「いまさら聞けない血液検査」についてどのような印象をおもちですか。

大変有意義だった	10
有意義だった	17
まあまあだった	10
もの足りない	2
非常に不満足	1



- ・穿刺液は止めていたが、末梢血、マルクでも有効であることが分かった。
- ・説明が短く内容が薄く感じた
- ・明日からは是非引き終わりを止めるスライドを作成し観察して比較してみようと思いました。
- ・当施設では体液像は病理が行っている。ガン細胞の分類は血液担当者には無理です。

10. 今後希望する「いまさら聞けない血液検査」のテーマはございますか？

- ・血球を見分けるコツ
- ・形態分類で誤りやすいもの、ポイントなど基礎を教えてください。
- ・以外でした。ビックリしました。
- ・抗凝固剤について
- ・FAB分類、WHO分類
- ・細胞形態判定から診断、血液検査入門
- ・PLTのEDTA凝集してしまう検体の正しいPLT算定法
- ・ローテーションによる形態学。DM96を購入する予算はありません。
- ・形態について
- ・初めて聞いた話でした

11. 現在、自施設で血液検査について困ったことはありますか？

- ・異常細胞の分類
- ・凝固系検査で試薬が無駄になってしまう。HPT、TTは1年に数回しかオーダーされない為。
- ・マルクでCell数が少ないとき
- ・幼弱細胞の研修がなく、知識が浅い点です。精査外注を行うので経験になっていない気がします。